

 YAMAHA

MOBILE AUDIO INTERFACE

GO46

取扱説明書

JA

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 **警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-5D) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



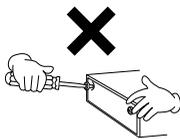
禁止

電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。感電や火災、または故障の原因になります。

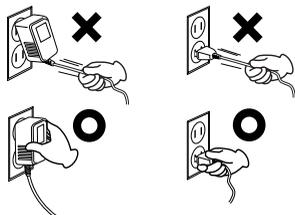
注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



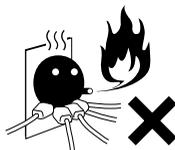
必ず実行

電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。





不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行
本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

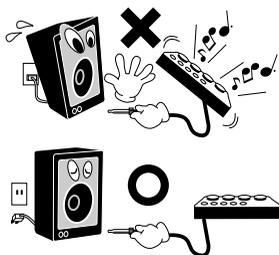


必ず実行
この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行
他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻木のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご注意

- ・ 取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 付属の Cubase LE、HALion SE、Groove Agent SE の著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- ・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 付属のソフトウェアの CD-ROM は、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ ヤマハ（株）および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

- ・ Windows は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- ・ FireWire および FireWire シンボルは、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。FireWire ロゴは、Apple Computer, Inc. の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ Steinberg、Cubase、HALion、Groove Agent は、Steinberg Media Technologies GmbH 社の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

- ・ 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

はじめに

このたびは、ヤマハ MOBILE AUDIO INTERFACE GO46 をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

GO46 は、スタジオ品質でマルチチャンネルのオーディオ入出力（入力 4 チャンネル / 出力 6 チャンネル）が可能な、IEEE1394 (FireWire®) 接続タイプのオーディオ / MIDI インターフェースです。IEEE1394 (FireWire) 端子を装備したコンピューターと接続して、パワフルなデジタルオーディオをお楽しみください。

GO46 の優れた機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただけますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいたあとも不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管されますようお願い申し上げます。

目次

パッケージの内容.....	7
付属ソフトについて.....	7
電源の準備.....	7
ソフトウェアのインストール - Windows の場合.....	8
動作環境.....	8
インストール前の準備.....	8
ドライバーとコントロールパネルのインストール.....	9
GO46 を Windows で既定のオーディオデバイスにするには.....	11
ソフトウェアのインストール - Macintosh の場合.....	12
動作環境.....	12
コントロールパネルのインストール.....	12
GO46 を Mac OS X で既定のオーディオデバイスにするには.....	12
各部の名称と機能.....	13
フロントパネル.....	13
リアパネル.....	15
ドライバーについて.....	17
Windows ドライバー.....	17
Mac OS X ドライバー.....	19
GO46 コントロールパネルについて.....	20
Digital Mixer(デジタルミキサー) 画面.....	20
Output & Settings(アウトプット&セッティング) 画面.....	21
ABOUT 画面.....	23
仕様.....	24
動作環境.....	25
トラブルシューティング(困ったときは・・・).....	26
本製品のユーザーサポートサービス.....	28

パッケージの内容

GO46 のパッケージには、次のものが同梱されています。箱を開けたらまず同梱品を確認してください。

- GO46 本体
- 電源アダプター (PA-5D)
- GO46 取扱説明書

- CD-ROM 2 枚
(Windows/Macintosh ハイブリッドCD)
- IEEE1394 (FireWire)
ケーブル (6 ピン - 6 ピン)
- IEEE1394 (FireWire) 変換
アダプター (4 ピン - 6 ピン)



付属ソフトについて

同梱の CD-ROM (2 枚) には以下の付属ソフト (ドライバー) が入っています。

「TOOLS for GO44/GO46」 CD-ROM

- ドライバー/コントロールパネル インストーラー (Windows)
- コントロール パネル インストーラー (Macintosh)
- GO46 取扱説明書 (PDF マニュアル)
- VST インストゥルメント (VSTi)
HALion SE (Windows/Macintosh)
Groove Agent SE (Windows/Macintosh)

「Cubase LE」 CD-ROM

- Cubase LE (Windows/Macintosh)

(NOTE)

- ・ Cubase LE (Windows) のインストールに必要な Cubase LE のシリアル番号は、CD-ROM の使用許諾シートに記載されています。
- ・ Cubase LE をインストールするときは、インターネットに接続した状態で行ない、すべての項目を入力してください。
- ・ Macintosh の場合は、「Cubase LE.pkg」のアイコンをダブルクリックしてインストールします。
- ・ VSTi をインストールするには、「TOOLS for GO44/GO46」 CD-ROM から以下のファイルをダブルクリックしてください。
Windows: VSTi Set¥Setup VSTi Set.exe
Macintosh: VSTi Set¥Setup VSTi Set.pkg

電源の準備

この製品に電源スイッチはありません。電源アダプターを接続すると電源が入ります。6 ピン - 6 ピンの IEEE1394 (FireWire) ケーブルの場合、ケーブルを通して GO46 に電源が供給されるため電源アダプターは不要です。ただし、電源不足によって動作が不安定になることがあるため、付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。また、ノートパソコンでご使用の場合、電源アダプターを使用すればバッテリーの消耗を防げます。お使いのコンピューターの IEEE1394 (FireWire) 端子が 4 ピンの場合は、GO46 に電源が供給されません。必ず付属の電源アダプターを使用してください。

ソフトウェアのインストール － Windows の場合

(NOTE) インストールを行なうときは、G046 をコンピューターに接続しない状態で開始し、以下の手順で実行してください。

動作環境

G046 は、Windows XP Professional/Home Edition の SP (Service Pack) 1 と SP2 でのみお使いいただけます。その他の Windows バージョンには対応していません。バージョンを確認するには、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]を選択し、[システム]をダブルクリックします。Service Pack はマイクロソフトのホームページ (<http://www.microsoft.com/japan/>) から入手できます。通常は無償で提供されます。

(NOTE)

- 詳しくは梱包箱、またはこの取扱説明書 (PDF マニュアル P.25) でご確認ください。最新の動作環境は下記 URL でご確認ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm>
- コントロールパネルに [システム] アイコンが表示されない場合は、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックして、すべてのコントロールパネルとアイコンを表示させます。

インストール前の準備

[スタート]メニューから [コントロールパネル] をクリックします。[システム] → [ハードウェア] → [ドライバーの署名] → [ドライバー署名オプション] で「無視 - ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK] をクリックします。

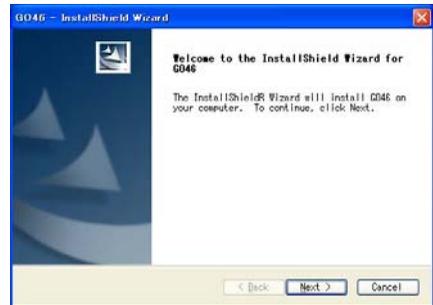
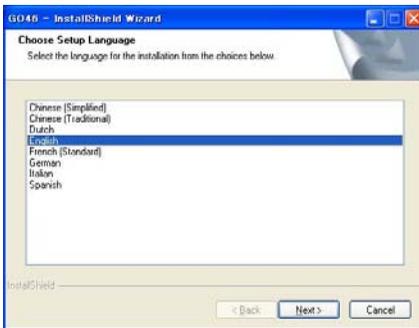


(NOTE) インストールが終了したら、上記の設定を元に戻してください。

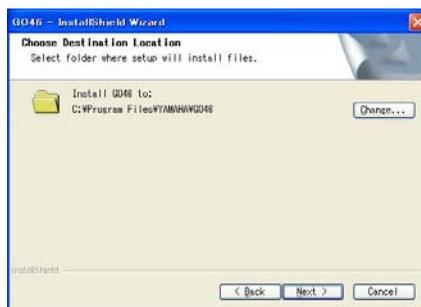
ドライバーとコントロールパネルのインストール

1. CD-ROM ドライブに付属のCD-ROM 「TOOLS for GO44/GO46」 を挿入します。
2. 「マイコンピュータ」からCD-ROM ドライブを開き、[GO46Driver_]→[GO46 Setup.exe] の順にダブルクリックし、インストールウィザードを起動します。
3. インストールウィザードで使用する言語を選択し、[Next] をクリックします。
Welcome メッセージが表示されたら、もう一度 [Next] をクリックします。

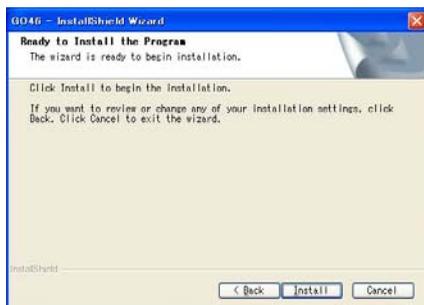
(NOTE) ここでは、英語 (English) を選択したときの画面を使って説明します。言語として日本語を選択することはできませんが、以下の手順通りに操作すれば、正常にインストールが行なわれます。



4. インストール先を変えたい場合は、[Change] をクリックした上でフォルダーを指定します。そのあと [Next] をクリックします。



5. [Install] をクリックすると、インストールが開始されます。



6. 以下のメッセージが表示されたら、付属のケーブルを使って GO46 とコンピューターの IEEE1394 (FireWire) 端子を接続し、[OK] をクリックします。GO46 が新しいハードウェアとして認識され、ドライバのインストールが開始されます。



7. 「Yes, I want to restart my computer now.」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れます。[Finish] をクリックしてコンピューターが再起動すると、インストールが完了します。



8. ドライバーがインストールされると、「デバイスマネージャ」に GO46 が追加されます。「デバイスマネージャ」は、[スタート] → [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] で [デバイスマネージャ] をクリックすると表示されます。



GO46 を Windows で既定のオーディオデバイスにするには

[スタート] → [コントロールパネル] → [サウンドとオーディオデバイス] で [オーディオ] タブをクリックし、既定のデバイスを GO46 に設定します。GO46 を Windows の既定のデバイスに設定した場合、レベルの調節は GO46 のコントロールパネルでのみ可能です。Windows のミキサーは無効になります。



ソフトウェアのインストール － Macintosh の場合

動作環境

GO46 は、Mac OS 10.3.6 (OS X) 以降でお使いいただけます。

(NOTE) 詳しくは梱包箱、またはこの取扱説明書 (PDF マニュアル P.25) でご確認ください。
最新の動作環境は下記 URL でご確認ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm>

コントロールパネルのインストール

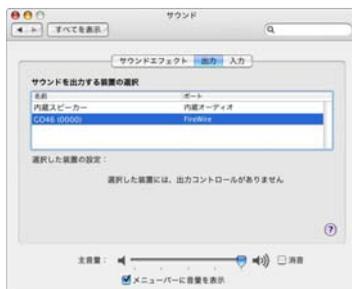
GO46 は、OS X の CoreAudio や CoreMIDI のドライバーを使用するため、専用ドライバーをインストールする必要はありません。付属のケーブルを使って GO46 とコンピューターの IEEE1394 (FireWire) 端子を接続するだけで使用可能になります。ただし、ルーティング (出力端子への信号の割り当て) やサンプリング周波数の切り替えなどの GO46 の優れた機能を使いこなしていただくために、以下の手順でコントロールパネルをインストールしてください。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM 「TOOLS for GO44/GO46」 を挿入します。
2. CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[GO46Driver_] → [GO46 Setup.pkg] の順に開きインストールウィザードを起動します。
3. Welcome メッセージが表示されたら、[Continue] をクリックします。
4. インストール先として、Mac OS がインストールされているドライブを選択し、[Continue] をクリックします。
5. [Install] をクリックすると、インストールが開始されます。
6. [Restart] をクリックします。コンピューターが再起動されたらインストールが完了します。

(NOTE) コントロールパネルの使用方法は、PDF マニュアル (P.20) をご参照ください。

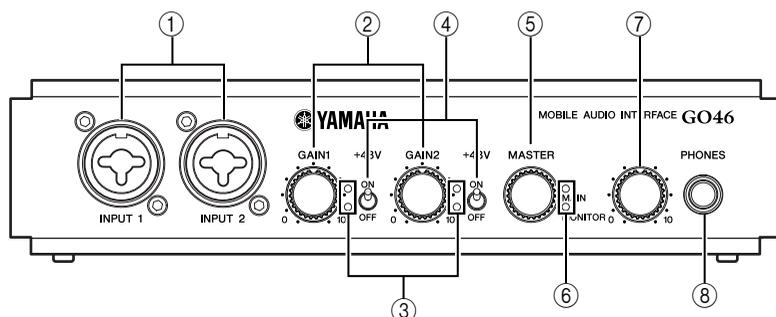
GO46 を Mac OS X で既定のオーディオデバイスにするには

[システム環境設定] → [サウンド] で [出力] タブをクリックし、「サウンドを出力する装置の選択」を GO46 に設定します。



各部の名称と機能

フロントパネル



① INPUT 1/2(インプット 1/2) 端子

楽器やマイクを接続可能な、XLR および 1/4" フォーン共用の入力端子です。この端子は、リアパネルの INPUT 1/2 端子とオーディオチャンネルが共通です。両方の端子にマイクや楽器を接続した場合、自動的にフロントパネルの接続が有効になります。

② [GAIN 1]/[GAIN 2](ゲイン 1/2) ノブ

フロントパネル / リアパネルの INPUT 1/2 端子の入力感度を調節します。

(NOTE) 録音する際には、24ビットコンバーターのダイナミックレンジを最大限に生かすために、入力感度はなるべく大きくしましょう。プラグインなどで後から調節するよりも、始めからダイナミックレンジを広くしておいたほうが良い音で録音できます。

③ シグナル / クリップランプ

フロントパネル / リアパネルの INPUT 1/2 端子から入力されている信号の状態を確認するランプです。INPUT 1/2 端子に信号が入力されている場合は、下側の青いランプが点灯します。入力信号がクリップ(入力レベルオーバー)した場合は、上側の赤いランプが点灯します。入力感度を調節するときは、クリップランプを見ながらノブを回し、ランプが点灯しない範囲で入力感度を高めに設定するといいでしょ。

④ [+48V] スイッチ

フロントパネルの INPUT 1/2 端子に+48Vのファンタム電源を供給するスイッチです。ファンタム電源が必要なコンデンサーマイクなどを接続した場合は、このスイッチを ON に切り替えます。



ファンタム電源を入れる場合は下記の点に注意してください。

- ファンタム電源が不要なときは、必ずこのスイッチをオフにしておいてください。
- ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイク以外の機器がフロントパネルの INPUT 1/2 端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクは接続されていても問題ありません。
- スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源がオフの状態では、ファンタム電源をオン / オフしてください。また、[MASTER] ノブやヘッドフォンレベルノブは、すべて最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

各部の名称と機能

⑤ [MASTER] (マスター) ノブ

アナログ出力 (OUTPUT 1/2 端子または OUTPUT 3/4 端子) の出力レベルを調節します。ノブを押すと、出力レベルを調節する端子 (OUTPUT 1/2 端子のみ、OUTPUT 3/4 端子のみ、両方の端子) を選択できます。現在このノブで調節可能な出力端子は、MAIN/MONITOR (メイン/モニター) ランプで確認できます。また、ノブを 2 秒以上押すと、現在選択されている出力端子をミュートできます。たとえば、2 台のモニタースピーカーを聞き比べたりするのに便利です。

これらの動作は、GO46 コントロールパネル (P.20) を使って操作することも可能です。

⑥ MAIN/MONITOR (メイン/モニター) ランプ

[MASTER] ノブで調節可能な出力端子を確認するランプです。MAIN ランプが OUTPUT 1/2 端子、MONITOR ランプが OUTPUT 3/4 端子に対応します。ランプの状態 (点灯 / 消灯 / 点滅) で現在操作できる端子やミュートの状態が確認できます。表示の意味については下表をご参照ください。

MAIN ランプ	MONITOR ランプ	[MASTER] ノブで調節可能な 出力レベル	[MASTER] ノブを 2 秒以上 押したときの動作
点灯	消灯	OUTPUT 1/2 端子	OUTPUT 1/2 端子ミュート
消灯	点灯	OUTPUT 3/4 端子	OUTPUT 3/4 端子ミュート
点灯	点灯	OUTPUT 1/2、3/4 端子	OUTPUT 1/2 3/4 端子ミュート
点滅	消灯	OUTPUT 1/2 端子 (OUTPUT 1/2 端子ミュート)	OUTPUT 1/2 端子 ミュート解除
点滅	点灯	OUTPUT 3/4 端子 (OUTPUT 1/2 端子ミュート)	OUTPUT 1/2 3/4 端子ミュート
消灯	点滅	OUTPUT 3/4 端子 (OUTPUT 3/4 端子ミュート)	OUTPUT 3/4 端子 ミュート解除
点灯	点滅	OUTPUT 1/2 端子 (OUTPUT 3/4 端子ミュート)	OUTPUT 1/2 3/4 端子ミュート
点滅	点滅	OUTPUT 1/2、3/4 端子 (OUTPUT 1/2、3/4 端子 ミュート)	OUTPUT 1/2、3/4 端子 ミュート解除

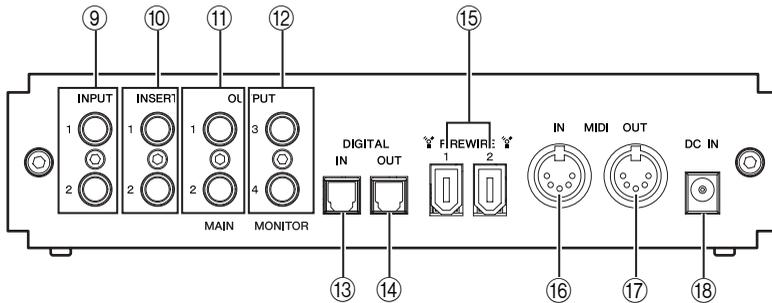
⑦ ヘッドフォンレベルノブ

PHONES 端子の出力レベルを調節します。

⑧ PHONES (ヘッドフォン) 端子

ステレオヘッドフォンを接続する 1/4" ステレオフィोन端子です。この端子からは、リアパネルの OUTPUT 3/4 端子と同じ信号が出力されます。GO46 コントロールパネル (P.20) を使って OUTPUT 3/4 端子に割り当てる信号を切り替えれば、任意のオーディオチャンネルをモニターできます。

リアパネル



⑨ INPUT 1/2 (インプット 1/2) 端子

高品質なアナログ信号が入力可能な、バランス / アンバランス対応の 1/4" フォーン端子です。これらの端子の入力感度は、フロントパネルの [GAIN 1]/[GAIN 2] ノブで調節できます。この端子は、フロントパネルの INPUT 1/2 端子とオーディオチャンネルが共通です。両方の端子にマイクや楽器を接続した場合、自動的にフロントパネルの接続が有効になります。

⑩ INSERT 1/2 (インサート 1/2) 端子

チャンネルインサート用の 1/4" ステレオフィォーン端子です。コンプレッサーやエフェクターなどの外部機器を接続するときに利用します。外部機器を経由した信号は、A/D コンバーターの直前に挿入されます。

⑪ OUTPUT 1/2 (アウトプット 1/2) 端子

メイン出力を行なうバランス / アンバランス対応の 1/4" フォーン端子です。ミキサー、パワードスピーカー、アンプなどを接続できます。この端子では、音楽再生に適した 2.0Vrms のアナログ出力が行なえます。

⑫ OUTPUT 3/4 (アウトプット 3/4) 端子

モニター出力を行なうバランス / アンバランス対応の 1/4" フォーン端子です。

⑬ DIGITAL IN (デジタルイン) 端子

オーディオ信号をデジタル入力するデジタルオーディオ端子です。対応可能な量子化ビットおよびサンプルレートは、最高 24 ビット / 96kHz です。デジタル入力された信号は、GO46 コントロールパネル (P.20) のデジタルミキサーで調節できます。

デジタル録音する場合、お使いの機器 (たとえば DAT レコーダーとコンピューター) のサンプルレートを一致させる必要があります。また、S/PDIF 規格 (民生用デジタルオーディオの規格) には、オーディオ信号の他にデジタルオーディオ同士を同期させるワードクロックという信号が含まれています。GO46 コントロールパネルの MASTER CLOCK 欄の設定を [EXTERNAL] に設定すれば、GO46 は入力されたデジタル信号に自動的に同期します。

Cubase などのアプリケーションには、ハードウェアのクロックソースを内部 (Internal) から外部 (External または S/PDIF など) に切り替える機能がありますが、この切り替えは GO46 には反映されません。

各部の名称と機能

⑭ DIGITAL OUT(デジタルアウト) 端子

オーディオ信号をデジタル出力するデジタルオーディオ端子です。対応可能な量子化ビットおよびサンプルレートは、最高 24 ビット /96kHz です。

デジタル出力を行なうには、GO46 コントロールパネルで、デジタル出力するオーディオチャンネルを選択します。デジタル出力するチャンネルとして [NON AUDIO] を選択すれば、AC3 や DTS も再生できます。[NON AUDIO] の選択中、AC3 や DTS の信号はアナログ出力されることはありません。

⑮ IEEE1394 (FireWire)(ファイヤーワイヤー) 端子

付属の IEEE1394 (FireWire) ケーブルを接続する端子です。GO46 をコンピューターに接続するのに利用します。

⑯ MIDI IN(ミディイン) 端子

MIDI キーボードや DAW コントローラーなどの MIDI 機器を接続するのに利用します。MIDI 機器を接続する場合、この端子と MIDI 機器の MIDI OUT 端子を MIDI ケーブルで接続します。

⑰ MIDI OUT(ミディアウト) 端子

シンセサイザーや音源モジュールなどの MIDI 機器を接続する端子です。MIDI 機器を接続する場合、この端子と MIDI 機器の MIDI IN 端子を MIDI ケーブルで接続します。DAW ソフトウェアなどを使えば、MIDI IN から入力されたデータをそのまま出力する THRU(スルー)機能が使えます。

⑱ DC IN(ディーシーイン) 端子

付属の電源アダプター (PA-5D) を接続します。

ドライバーについて

Cubase の場合、入力は「Line 1/2 left GO46」や「SPDIF left GO46」などと表示されます。また使用可能な「バス」や「チャンネル」などの出力は「Multichannel 1 GO46」や「SPDIF/AC3 left GO46」などと表示されます。



Cubase LE

MIDI ドライバー

GO46 の MIDI IN/MIDI OUT 端子を使用するためのドライバーです。アプリケーション上では、「GO46(GO46 (1)) Midi In 1」(MIDI 入力)、「GO46(GO46 (1)) Midi Out 1」(MIDI 出力)と表示されます。

(NOTE) Windows Media Player などのアプリケーションを使って MIDI ファイルを再生する場合、GO46 に接続したシンセサイザー / 音源モジュールを演奏することもできます。これを行なうには、サウンドとオーディオデバイスのプロパティのオーディオ ([スタート] → [コントロールパネル] → [サウンドとオーディオデバイス] で [オーディオ] タブをクリック) を表示させ、[MIDI 音楽の再生] の規定のデバイスとして GO46 を選びます。

Mac OS X ドライバー

GO46 は、Mac OS X に含まれる CoreAudio や CoreMIDI のドライバーで利用できます。このため、専用ドライバーをインストールする必要はありません。

システムサウンドなどを GO46 から出力したい場合は、システム環境設定のサウンドを出力する装置の選択 ([システム環境設定] → [サウンド] で [出力] タブをクリック → [サウンドを出力する装置の選択]) を表示させ、規定のオーディオデバイスとして GO46 を選択します。



また、Cubase などの DAW ソフトウェアでは、CoreAudio/CoreMIDI のドライバーを使って GO46 が利用できます。バッファサイズ (オーディオシステムへのアクセスを加速するためのメモリー領域) も DAW 側で設定できます。



Cubase LE

GO46 コントロールパネルについて

GO46 コントロールパネルは、GO46 を使いこなす上で最も重要なソフトウェアです。レベルの調節、出力端子へのオーディオチャンネルの割り当て（ルーティング）、ワードクロックの設定など、GO46 のすべての設定はこのコントロールパネルで行なうことができます。

このコントロールパネルには、複数の画面があります。コントロールパネル左上のタブを使って表示する画面を切り替えることができます。

(NOTE) ここからはWindows 版の画面を使って説明しますが、Windows 版/Macintosh 版ともに操作可能な項目は基本的に同じです。

Digital Mixer(デジタルミキサー) 画面

GO46 内蔵のデジタルミキサーを操作する画面です。



(NOTE) DAWソフトウェアなどを使用している場合、レベルの調節はDAWソフトウェア側で行なった方がいいでしょう。こうしておけば、作成した楽曲データに音量情報を含め、一元管理できます。

ANALOG IN/DIGITAL IN(アナログイン / デジタルイン) 欄

ANALOG IN 欄ではアナログ入力チャンネル、DIGITAL IN 欄ではデジタル入力チャンネルのレベルを調節できます。フェーダーをドラッグすると、そのフェーダーに対応するチャンネルのレベルを調節できます。また、[MUTE] ボタンをクリックすると、そのボタンに対応するチャンネルをミュートできます。

各入力チャンネルは、2 つのモノラルチャンネルとして利用したり、モノラルチャンネルを連結し、ステレオチャンネルとして利用したり（ステレオリンク機能）できます。ステレオリンク機能の有効 / 無効を切り替えるには、[PAIR] ボタンをクリックします。ステレオリンクが有効な間、フェーダーや [MUTE] ボタンの動作が連動します。

ギターなどのモノラル信号を入力している場合は、ANALOG IN 欄の [MONO] ボタンを使うと便利です。このボタンをオンにすると、入力信号はモノラルのままモニターする信号のみステレオにできます。

なお DIGITAL IN 欄は、DIGITAL IN 端子から信号が入力され、GO46 コントロールパネルの Output & Settings 画面 (P.21) にある MASTER CLOCK 欄の設定を「EXTERNAL」に設定するまで無効（グレー表示）となります。

DAW IN 1/2、DAW IN 3/4、DAW IN 5/6 欄

DAW ソフトウェアなどから出力された信号のレベルを調節できます。

ANALOG IN/DIGITAL IN 欄と同様に、6つのチャンネルは、それぞれ2つのモノラルチャンネルとして利用したり、「ステレオリンク機能」([PAIR] ボタン)を使ってステレオチャンネルとして利用したりできます。ステレオリンクが有効な間は、フェーダーや[MUTE]ボタンの動作が連動します。デジタルミキサーでミックスされた信号を出力するには、Output & Settings画面のROUTING欄(P.22)で出力端子にデジタルミキサーの出力(DIGITAL MIXER)を割り当てている必要があります。もしすべての出力端子にデジタルミキサー以外の出力を割り当てている場合は、デジタルミキサーの操作内容は無効となります。

MASTER(マスター) 欄

デジタルミキサーの全体の音量を調節します。必要に応じてステレオリンクの有効 / 無効を切り替えたり、ミュートしたりできます。

Output & Settings(アウトプット&セッティング)画面

GO46 が動作するサンプルレートの設定、出力端子への信号の割り当て、OUTPUT 1/2 および OUTPUT 3/4 端子の出力レベルを調節する画面です。



MASTER CLOCK(マスタークロック) 欄

GO46 が動作するサンプルレートを設定します。デジタル入力を利用しない場合は、[INTERNAL] ボタンをクリックし、右側のプルダウンメニューを使って動作するサンプルレート (32kHz ~ 192kHz) を選びます。

DAT などの外部機器を DIGITAL IN 端子に接続した場合は、[EXTERNAL] ボタンをクリックします。現在同期しているサンプルレートは、[EXTERNAL] ボタンの右側に表示されます。ワードクロック信号が入力されていない場合は、「-----」と表示されます。

設定内容が正常に動作しているときは、MASTER CLOCK 欄右側の SYNC ランプが点灯します。

(NOTE)

- ・ サンプルレートを 192kHz にした場合は、オーディオ入力は ANALOG IN のみ、オーディオ出力は DAW IN 1/2 のみ利用できます。
- ・ サンプルレートを 192kHz にした場合は、MIDI 入出力を使用しないでください。ノイズや音飛びの原因となります。

GO46 コントロールパネルについて

ROUTING(ルーティング) 欄

OUTPUT 1/2、OUTPUT 3/4、DIGITAL OUT 端子から出力する信号を選択します。各出力端子には、GO46に入力されるすべての信号(DAW 1/2、DAW 3/4、DAW 5/6、ANALOG IN、DIGITAL IN、DIGITAL MIXER)の中から1つを選んで割り当てることができます*。左側の3つのメニューを使って出力端子に割り当てた信号(ペア化された2チャンネル)を選択できます。

「DIGITAL MIXER」を選択すると、GO46のデジタルミキサーの出力が割り当てた出力端子へと送られます。そのほかの信号を選んだ場合、その信号は割り当てた出力端子から直接出力されます。



* DIGITAL OUT 端子の場合、NON AUDIO を選択することもできます。NON AUDIO を割り当てると、DIGITAL OUT 端子からのみ AC3/DTS の信号が出力されます。

OUTPUT 欄

OUTPUT 1/2 端子と OUTPUT 3/4 端子の出力レベルを調節します。フェーダーを操作すると、D/A コンバーター直後の信号レベルが調節されます。各出力端子は、2つのモノラルチャンネルとして利用したり、「ステレオリンク機能」を使ってステレオチャンネルとして利用したりできます。デジタルミキサーと同様に[MUTE]ボタンをクリックしてミュートのオン/オフ、[PAIR]ボタンをクリックしてステレオリンクの有効/無効を切り替えることができます。

OUTPUT 欄のフェーダーの動作は、フロントパネルの[MASTER]ノブと連動します。

ASIO コントロールパネル (Windows のみ)



ASIO ドライバーを利用したときのレイテンシー(オーディオ信号の遅延)を調節します。ASIO パネルを表示するには、Output & Settings 画面左下の[ASIO]ボタンをクリックします。

レイテンシーの設定値が低すぎる場合(特に高いサンプルレートで使用しているとき)、ノイズや音飛びなどシステム全体の動作に支障をきたすことがあります。もし問題が起こる場合は、レイテンシーの値を大きくしてください。

コンピューターの処理能力が高いほど、レイテンシーの値を低くすることができます。たとえば、処理能力の高いコンピューターの場合、サンプルレートを 96kHz に設定しても、5ms 以下のレイテンシーで利用できます。

Cubase などの ASIO 対応のアプリケーションでは、アプリケーション側でさらに細かいオプション設定が行なえます。

SCENES パネル



シーンの保存 / 呼び出しを行ないます。シーンとは、GO46 コントロールパネルの設定を一括して保存したファイルです (MASTER CLOCK 欄 (P.21) を除く)。シーンを保存しておけば、必要なときにそのファイルを呼び出すだけで保存時の状態に戻せます。Windows の場合、Output & Settings 画面左下の [SCENES] ボタンをクリックするとこのパネルが表示されます。Macintosh の場合、GO46 の [File] メニューから [SCENES] を選ぶとこのパネルが表示されます。

シーンをセーブするには、[SAVE] ボタンの左側にシーンの名前を入力し、[SAVE] ボタンをクリックします。保存済みのシーンの呼び出しや削除を行なうには、左下に表示されるシーンの中から 1 つを選択し、[LOAD] ボタン (シーンを呼び出す場合) または [DELETE] ボタン (シーンを削除する場合) をクリックします。

ABOUT 画面



コントロールパネル、オーディオドライバー、ファームウェアおよびオペレーティングシステムに関する情報を表示します。

仕様

■一般仕様

量子化ビット数	8/16/24
サンプリング周波数 (kHz)	32/44.1/48/88.2/96/192
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
ダイナミックレンジ	107dB (Input/44.1kHz 時)
消費電力	11W

■入出力仕様

アナログ入力	形状	定格入力	最大入力	解像度
INPUT 1/2 (Front Panel)	XLR (Mic, balanced)	- 44dBu — +6dBu	+6dBu	24bit ADC up to 192kHz
	TRS Phone (Balanced)	- 40dBu — +10dBu	+10dBu	
INPUT 1/2 (Rear Panel)	TRS Phone (Balanced)	- 3dBu — +9dBu	+9dBu	24bit ADC up to 192kHz
INSERT 1/2 (Rear Panel)	TRS Phone (Stereo)	—	—	—

アナログ出力	形状	定格出力	最大出力	解像度
OUTPUT 1/2	TRS Phone (Balanced)	+4dBu	+8dBu	24bit DAC up to 192kHz
OUTPUT 3/4	TRS Phone (Balanced)	+4dBu	+8dBu	24bit DAC up to 96kHz
PHONES	TRS Phone (Stereo)	—	+16dBu	24bit DAC up to 192kHz

デジタル入出力	形状	フォーマット	解像度	補足
DIGITAL IN	Optical (TOS Link)	IEC60958 (Consumer)	24bit, up to 96kHz	—
DIGITAL OUT	Optical (TOS Link)	IEC60958 (Consumer)	24bit, up to 96kHz	AC3 and DTS Pass Through
IEEE1394 (FireWire)	IEEE1394 6Pin	IEEE1394	—	6INPUT/40OUTPUT Channel (To PC)
MIDI IN/OUT	5pin DIN	MIDI	—	—

動作環境

GO46

(NOTE)

- ・ お使いの OS によっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。
- ・ 各社 DAW (Digital Audio Workstation) の動作環境については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- ・ 最新の動作環境は下記 URL でご確認ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm>

Windows

対応 OS	Windows XP Professional/ Home Edition (SP1 または SP2)
CPU	Pentium III 800MHz 以上 (Pentium 4 2GHz 以上推奨)
必要メモリー	256MB 以上 (512MB 以上推奨)
IEEE1394 (FireWire) 端子を搭載したもの ^(*)	

- * IEEE1394 (FireWire) 端子を搭載したコンピューターが必要です。搭載していない場合は、PCMCIA または PCI カードなどを別途ご用意ください。

Macintosh

対応 OS	Mac OS X 10.3.6 以降 (Mac OS X 10.3.8 以降推奨)
CPU	G4 800MHz 以上 (G5 1.8GHz 以上推奨)
必要メモリー	256MB 以上 (512MB 以上推奨)

CUBASE LE

Windows

対応 OS	Windows 2000/Windows XP Professional/Home Edition
CPU	Pentium III 500MHz 以上 (Pentium III 1GHz 以上推奨)
必要メモリー	256MB 以上 (512MB 以上推奨)
ハードディスク空き容量	1GB 以上

Macintosh

対応 OS	Mac OS X 10.3.3 以降
CPU	G4 450MHz 以上
必要メモリー	256MB 以上 (512MB 以上推奨)
ハードディスク空き容量	1GB 以上

HALion SE/Groove Agent SE

Windows

対応 OS	Windows XP Professional/ Home Edition
CPU	Pentium III 800MHz 以上 (Pentium 4 2.8GHz 以上推奨)
必要メモリー	384MB 以上 (512MB 以上推奨)
ハードディスク空き容量	512MB 以上

Macintosh

対応 OS	Mac OS X 10.3 以降
CPU	G4 867MHz 以上 (G5 Dual 1.8GHz 以上推奨)
必要メモリー	384MB 以上 (512MB 以上推奨)
ハードディスク空き容量	512MB 以上

トラブルシューティング (困ったときは・・・)

■ GO46 本体の電源が入らない

- ・ 付属の電源アダプターが電源コンセントに正しく接続されていますか？
- ・ 4ピン〜6ピンのIEEE1394 (FireWire)変換アダプターで、GO46とコンピューター(IEEE1394 (FireWire)端子が4ピンタイプ)を接続した場合は、付属の電源アダプターを使用してください。(P.7)

■正常に動作しない

- ・ IEEE1394 (FireWire) リピーターハブをお使いではありませんか？お使いの場合は、IEEE1394 (FireWire) ケーブルをコンピューターに直接接続してお試しください。また、IEEE1394 (FireWire) 端子が複数ある場合は、他の IEEE1394 (FireWire) 端子もお試しください。
- ・ 他の IEEE1394 (FireWire) 機器も接続している場合は、GO46 だけを接続して問題がないか確認してください。
- ・ お使いのコンピューターは、動作環境を満たしていますか？ (P.25)
- ・ (Windows) ドライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールしてみてください。

■ドライバーがインストールできない (Windows)

- ・ お使いのコンピューターは、動作環境を満たしていますか？ (P.25)
- ・ ドライバーをもう一度インストールしてみてください。

■「新しいハードウェアの検出ウィザード」メッセージが表示される (Windows)

- ・ ドライバーはインストールされていますか？(P.8)
- ・ 「検索ウィザード」をキャンセルしてから、ドライバーをもう一度インストールしてみてください。

■音がでない / 音が小さい

- ・ スピーカーやヘッドフォンなどは正しく接続されていますか？
- ・ アンプなどの外部機器の電源は入っていますか？
- ・ 外部機器からの信号は入力されていますか？
- ・ 音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS(コンピューター)などの音量設定は上がっていますか？
- ・ OS(コンピューター)またはGO46コントロールパネルの設定で、出力がミュート(消音)になっていませんか？
- ・ 外部機器との接続ケーブルは断線していませんか？
- ・ ワードクロックの設定は本機と外部機器の双方で正しいですか？(P.21)
- ・ Cubase LEなどのDAWソフトウェア上でオーディオデータの出力先を設定していますか？設定方法については、DAWソフトウェア付属のマニュアルをご覧ください。
- ・ IEEE1394 (FireWire) ケーブルを抜いて、しばらく待ってから接続し直してください。

■音が歪む

- ・ お使いのコンピューターは動作環境を満たしていますか？(P.25)
- ・ 入力感度は適切なレベルに設定されていますか？(P.13)
- ・ 外部機器との接続ケーブルは断線していませんか？
- ・ ワードクロックの設定は本機と外部機器の双方で正しいですか？(P.21)
- ・ オーディオデータは適切なレベルで録音されていますか？

■ノイズが発生する

- ・ (Windows) ASIO Driver のレイテンシーの設定は適切ですか? (P.22)
- ・ (Windows) Hyper Threading が有効になっているコンピューターで Cubase LE をご使用する場合、Cubase LE で次の設定をしてください。[デバイス] → [デバイスの設定] → [VST Multitrack] → [詳細設定] で、[マルチプロセッサ対応] の左にあるチェックボックスをオフにしてください。
- ・ (Windows) BIOS で Hyper Threading または SpeedStep をオフにしてみてください。
- ・ ワードクロックの設定は本機と外部機器の双方で正しいですか? (P.21)
- ・ コンピューターで使用している内蔵ハードディスクの速度が遅いと録音 / 再生に問題が発生する原因となります。
- ・ 使用時に、LAN、USB、ミニジャックなどの端子にケーブルを接続したり、ケーブルを抜いたりするとノイズが発生したり、データが途切れたりすることがあります。使用時は、抜き差しをしないでください。
- ・ サンプルレート (ワードクロック) は適切ですか? コンピューターの性能によっては、サンプルレートが高いとノイズの原因となります。(P.21)
- ・ サンプルレートが 192kHz のときに MIDI 入出力を利用すると、ノイズや音飛びが発生することがあります。サンプルレートが 192kHz のときは、MIDI 入出力を行なわないでください。
- ・ IEEE1394 (FireWire) ケーブルを抜いて、しばらく待ってから接続し直してください。

■レジューム / サスペンドができない

- ・ 作業中データへの悪影響を防ぐため、DAW や MIDI シーケンスソフトウェアのご使用中に、レジュームやサスペンドは行なえません。ソフトウェアを終了させてからレジューム / サスペンドを行なってください。

本製品のユーザーサポートサービス

■ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録手続きは、下記ヤマハホームページよりお願いします。

ヤマハホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

* ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号（SER No.）が必要になります。

■住所 / 氏名 / メールアドレスの変更（同一使用者の範囲内）

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合は、上記ヤマハホームページよりお手続きください。

■質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではCBX インフォメーションセンターを開説いたしております。

お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号（SER No.）」をお知らせください。

CBX インフォメーションセンター

- TEL : 053-460-1667
- 受付日 : 月曜日～土曜日
(祝日およびセンターの休業日を除く)
- 受付時間 : 10:30 ~ 19:00
<http://www.yamaha.co.jp/support/contact/syndtm.html>

Cubase LEおよびSteinberg社製VSTインストゥルメントのサポートにつきましては、Steinberg社のホームページ（英語 / 世界共通）で行なっております。Steinberg社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新アップデートのダウンロード、FAQなどを公開しております。Cubase LEの[ヘルプ (Help)]メニューからSteinberg社のホームページにアクセスできます。（ヘルプメニューには、Cubase LEのPDFマニュアルや追加情報なども掲載されています。）

■営業窓口

国内楽器営業本部 LM営業部 企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
TEL. (03) 5488-5430

LM営業部 各地区お問い合わせ先

LM北海道
〒064-8543 札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50
(ヤマハセンター)
TEL. (011)512-6113

LM東京
〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
TEL. (03) 5488-5471

LM名古屋
〒460-8588 名古屋市中区錦 1-18-28
TEL. (052) 201-5199

LM大阪
〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-12-9
(心齋橋プラザビル東館)
TEL. (06) 6252-5231

LM九州
〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL. (092) 472-2130

PA・DMI 事業部 MP推進部 マーケティンググループ
〒430-8650 静岡県浜松市中区沢町 10-1
TEL. (053) 460-2432

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート

ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート & サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

* 名称、住所、電話、URL などは変更になる場合があります。

■保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお申し付けください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口 ヤマハ電気音響製品修理受付センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00
土曜日 9:00～17:30
(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK
ナビダイヤル

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053)463-1127

◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝祭日および弊社休業日を除く)

* お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内

FAX (011)512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜ト
ラックターミナル内14号棟A-5F

FAX (03)5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市和田町200
ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053)462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052)652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F

FAX (06)6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092)472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート
ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス
<http://www.yamaha.co.jp/support/>